

## 令和2年度11月教育委員会 会議録

開催日時	令和2年11月13日（金） 15:00～17:00	
開催場所	町民総合会館 集会室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員 綾野克紀委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、 石原知子主幹
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 令和3年度教育施策について</p> <p>(2) 早島町セキュリティポリシーについて</p> <p>(3) 令和4年度以降の成人式について</p> <p>(4) 「第3次岡山県教育振興基本計画」素案について</p> <p>(5) 児童生徒の不登校の状況について</p> <p>(6) その他</p> <p>3 連絡</p>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

### 会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：11月11日に早島幼稚園で人権教育拠点校事業の研究発表会を行った。自己有用感の向上や非認知能力の育成について、県内各地の先生方と意見交流ができ有意義な会となった。来年度は、非認知能力と ESD・キャリア教育の充実、ICTの教科での授業づくりについて研究を進めていきたい。</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 令和3年度教育施策について</p> <p>教育長：早島町教育委員会の令和3年度は、「知」「徳・体」「グローバル」という3つの柱をもとに、主な重点施策を示している。中央教育審議会初等教育分科会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中間まとめ）の概要をご覧いた</p>
--

だき、ご意見をいただきたい。9年間を見通した、新時代の義務教育の在り方の中にも、知・徳・体のバランスの取れた質の高い義務教育を受けられることが国の責務と明記してある。

栗坂委員：ICTの活用も大切だが、ICTは後に残らないという点もあるので、きちんと板書に残すところは残してほしい。

大森委員：最先端の技術を活用していくことも必要だが、学習の基盤となる根の部分が大切にされていないようにも思える。

教育長：非認知能力は、将来の成功の鍵と言われている。ICTの活用だけでなく非認知能力を高めることで、人間としても基盤を育てていきたい。また教師も、非認知能力を高めていく必要がある。非認知能力の分析をして、どういう力をつけていったらいいのかを共通理解していきたい。

綾野委員：ICTの活用については、いかに生産性を上げるかということが大切。使い方を覚えるというよりは、テストをタブレットで行うことにより、教師の効率化が図られ、時間を生み出せることにつなげていくために活用していきたい。不登校の児童生徒にICTを活用することも必要。

教育長：不登校児童生徒には、朝の会で学級や先生とつながることもでき、授業をオンラインで視聴もできるようになる。ただ、学校での役割として、人とつながることも大切であり、対面での触れ合いも大切にしたい。

大森委員：教員もゆとりをもたないといけない。なんでもやればよいということではなく、教師も主体的に取り組める余裕が必要。今はやらなければいけないことで精いっぱいという印象を受ける。

教育長：方向性についてお示ししたが、後程、第3次岡山県教育振興基本計画でも触れていきたい。

## (2) 早島町セキュリティポリシーについて

教育長：「早島町立学校におけるICT教育環境の充実及び構内LAN管理運用について」を作成した。ICTを活用するときの指針としたい。GIGAスクールサポーターが、各校週1回勤務をしており、システム等の支援し、ICT支援員は授業支援をしていく。

綾野委員：教育委員会のすることも明記することが必要。信頼できるWi-Fi以外に接続できないように教育委員会が設定しなければならないのではないのか。

教育長：セキュリティの大元は役場が担っており、基本のセキュリティについては厳しく設定してあると考える。

綾野委員：禁止事項だけでなく、外部と安易につながらないようにシステムを作って示さなければならないと思う。

大森委員：管理する側から見て、禁止事項を破った時の責任は学校にあると言っているよ

うに感じる。

教育長 : 禁止事項を破った時の責任を押し付けるものではない。ルールとして全教職員が理解していくことが、不祥事を行いことにもつながる。

綾野委員 : 書いてある内容で守れそうにないこともあるので、見直しが必要ではないか。

教育長 : セキュリティについては厳重に行っているが、専門家から見た意見も取り入れていきたい。一つの基準ではあるので、改善は随時行っていきたい。教員の共通理解を図るためのものである。

大森委員 : 厳重なセキュリティをしても、ウイルスが入ってくることも想定しておかないといけない。

綾野委員 : ICT 活用をすることで、働き方改革につなげていかなければいけない。教育委員会は、ここまで設定しているということを示したほうが良い。

教育長 : 校舎長会や教頭会等できちんと説明していきたい。また、随時改善を図っていく。セキュリティポリシーについてはよいか。

全委員 : 了承した。

### (3) 令和4年度以降の成人式について

教育長 : 成人年齢の引き下げに伴って、2022年以降の成人式について早島町としての方向性を示している。対象年齢、実施時期については現状のままとし、行事名を「成人式」ではなく、「20歳の集い」等に変更することを検討している。

大森委員 : 主役の子供たちはどう考えているのか。

教育長 : 岡山市では、中学生・高校生にアンケートを取っているようだ。早島町では毎年多くの成人が参加しており、今年度も実行委員会を立ち上げ、活動が始まっている。

黒木課長 : 早島町は小中学校でのつながりも強く、非常にスムーズに計画が進んでいる。

綾野委員 : 早島町は住民票がないと参加できないのか。

黒木課長 : 県外に住民票を移している人も参加することができる。

綾野委員 : 成人の日に式を行うとなると県外に帰ってしまう人もいるのではないか。

黒木課長 : 近年は、保護者も大勢参加しており親しみのある式となっている。

教育長 : 成人式を18歳で行うと、大学受験の時期とも重なり難しいのではないかとの意見もある。式に関しては各自治体の判断に任されている。

綾野委員 : 18歳が成人としての節目として、記念品だけを渡すこともできるのではないか。

大森委員 : 20歳の集いとして、20歳で式を行うというのが慣例としてなじみがあるように思う。

教育長 : 帰省が難しいようなら県外の参加者とオンラインで結ぶという考えもある。

綾野委員 : 主役は子どもたちなので、その意見も聞く必要がある。

教育長 : 該当生徒の意見を聞いていくが、最終的には町として判断したい。

大森委員 : 示されている「20歳の集い」を行う方向でよいのではないかと思う。

教育長 : 皆さんのご意見としてこの方向でよいか。

全委員 : 了承した。

#### (4) 「第3次岡山県教育振興基本計画」素案について

綾野委員 : Society5.0 の到来により、何ができるのかを具体的に示さなければならないのではないか。

大森委員 : 教育県岡山と言われていたが、今では、他県がどんどん力をつけてきている。

栗坂委員 : 授業力の向上と魅力ある人材の確保について、魅力ある人材の確保についてぜひ力を入れていただきたい。

綾野委員 : 学力状況の把握について、PDCA サイクルの確立に向けとあるが、まだ、確立できていないのか。

教育長 : 県教委が行うこととして書かれている。表現の工夫が必要である。

大森委員 : 高校の再編について、県北は大変重要な問題ととらえている。

教育長 : 特色ある学校づくりを各校とも模索している。また、気になることがあればメール等で知らせてほしい。

#### (5) 児童生徒の不登校の状況について

教育長 : 年間30日以上欠席の児童生徒については、中学校の不登校生徒の割合が高い。

大森委員 : 他市と比較しても割合高いのか。

教育長 : 昨年度の数値では、中学校は高い。一人ひとり欠席の理由は違うが、丁寧な支援を心掛けている。家庭の状況に問題が見られる場合は、SSW がかわることもある。

綾野委員 : 無理やり学校に行かせるよりは、ICT を活用して家庭で学習ができるようになればよいのではないか。

教育長 : ICT に夢中になったことによって、昼夜逆転現象が起こり、学校に登校できなくなる子もいる。家庭での適度な時間でのICT授業と、人とのつながりは大切にしていきたい。

#### (6) その他

竹井委員 : 山陽新聞に、大使を招いて授業を行ったという記事があったが国の制度を利用していたのかもしれない。大使館は費用を持っていることもあるので、直接お願いして中南米あたり的大使に学校に来てもらい授業をすることもできるのではないか。

教育長 : 本物と出会う機会、海外とつながる機会はぜひ大切にしていきたい。来年度の施策に取り入れることも考えられる。学校にはこうした時数の確保をお願いしたい。

3 連絡（11月の予定について確認）

- ・ 12月教育委員会 12月17（木）15時～17時  
町民総合会館 2階集会室